

主題：命の木

メッセージ 16

永遠の神聖な命の道、主の回復の道

聖書：マタイ 7:13-14. I コリント 3:9. II コリント 3:6. 啓 22:1-2

- I. 主の回復の道は命の道です。わたしたちは主の回復における命の内在的な本質を知る必要があります——詩 16:11. エレミヤ 2:13. 21:8. 1:4. 10:10 後半. 14:6. I コリント 15:45 後半. ローマ 8:2, 10, 6, 11:
- A. 三一の神の内在的な本質は、神聖な命です。すなわち、父なる神は命の源であり（ヨハネ 5:26）、子なる神は命の具体化であり（1:4）、霊なる神は命の流れです（4:14 後半. 7:38-39 前半）。
 - B. 新エルサレムの内在的な本質は、神聖な命です。すなわち、父なる神は命の光であり（啓 21:23. 22:5）、子なる神は命の木であり（2 節）、霊なる神は命の川です（1 節）。
 - C. 神が召会を建造して、キリストの花嫁の用意を整え、新エルサレムを建造するのは、神聖な命、復活の命によってです。その命は流れる、造り変える、建造する命です——マタイ 16:18. 創 2:22. ヨハネ 19:34. 詩 36:8-9。
- II. 神の民の日常生活のための唯一の道、また彼らが神と交わり、互いに交わるための結い唯一の道は、神聖な性質において流れる神聖な命です——啓 21:21 後半. 22:1-2. I ヨハネ 1:3:
- A. 聖なる都の大通りは、神聖な性質を象徴する純金であり、命の水の川は、大通りの中央を流れています——啓 21:21 後半. 22:1-2. I ヨハネ 1:3:。
 - B. 神聖な命が流れる所には、神聖な性質が聖なる道としてあり、それによって神の民は歩きます。神聖な性質の聖なる道がある所には、神聖な命が流れています——II ペテロ 1:4. ヨハネ 7:38-39 前半。
 - C. 大通りは、御座に結び付き、また御座から出ており、「交わりの大通り」です——啓 21:18 後半. 22:1-2. 21:21 後半. 参照、エゼキエル 1:22, 26. 列王記上 10:18。
 - D. わたしたちは神の神聖な性質の中を歩き、行動するとき、神の金の行政の下にもたらされて、命の流れを享受し、命の供給を享受します——啓 22:1-2。
- III. わたしたちは主に仕えるとき、自分の天然の熱意、天然の力、天然の能力を拒絶しなければなりません。わたしたちの奉仕は命の務めとして、わたしたちから他の人たちに流れ出ます——ヨハネ 7:38. II コリント 3:6. I ヨハネ 5:16 前半:
- A. わたしたちは神の命の火をもって、霊の中で燃えていなければなりません。わたしたちは異火をもって仕えるべきではありません。異火は、天然の熱意が十字架によって対処されておらず、復活の中になくことを表徴します——出 3:2. ルカ 12:49-50. ローマ 12:11. レビ 10:1:
 - 1. 祭司の奉仕の中の異火、でしゃばりの罪は、神の御前で死を引き起こします——9:24. 10:1-2。

2. 異火のささげ物は、ぶどう酒と関係があったのかもしれませんが。ぶどう酒を飲むことは、この世的で、天然的で、肉体的な物質を過度に享受することを表徴します——8-9 節。
 3. 祭司が酔っぱらっているとき、聖の識別力を失い、神の民に教えることができません——10-11 節。
- B. わたしたちの天然の力と能力は、主に対するわたしたちの奉仕のために十字架によって対処され、復活の中で有用になる必要があります——ピリピ 3:3 :
1. モーセは神によって四十年間わきに置かれた後、神の導きにしたがって神に仕え、神に信頼することを学びました——出 2:14-15. 使徒 7:22-36. ヘブル 11:28。
 2. ペテロは完全に失敗した後、信仰によって、またへりくだりをもって兄弟たちに仕えることを学びました——ルカ 22:32-33. ヨハネ 18:15-18, 25-27. マタイ 26:69-75. I ペテロ 5:5-6。
- IV. キリストは王国の憲法を制定したとき、神の御前での人々の生活と働きについての二つの可能性のある道を提示しました——マタイ 7:13-14, 21-27 :
- A. 崩壊に至る広い道は、この世の体系にしたがっており、天然の味わいを満足させ、大衆を得て、人の職業を維持し、人の事業を達成します——13:31-33. 啓 2:13, 20. 17:4-5。
 - B. 命に至る狭い道は、神聖な規則にしたがっており、霊的な要求を満たして、神の選民をもたらし、イエス・キリストの証を担い、神のエコノミーを遂行して、キリストのからだを建造します——ローマ 1:9. ヘブル 11:5-6. 啓 1:1-2, 9-10。
 - C. 命にある生ける褒賞に至る道は（使徒 9:2. 19:9, 23. 22:4. 24:22）、その道です。すなわち、真理の道、真っ直ぐな道、義の道（II ペテロ 2:2, 15, 21）、平安の道（ルカ 1:79. ローマ 3:17）、救いの道（使徒 16:17）、神の道（マタイ 22:16. 使徒 18:26）、主の道です（ヨハネ 1:23. 使徒 18:25）。それは異端の道として中傷されています（24:14）。
 - D. 神の定められた道は、常に狭く、狭められた生活と働きを持つこととあり、主の言い表せない命と務めの模範にしたがっています——ヨハネ 5:19. 4:34. 17:4. 14:10, 24. 5:30. 7:6, 18 :
1. わたしたちは主の回復において、わたしたちの霊の中で歩かなければなりません。霊の中で歩くことは、わたしたちを制限し、わたしたちに正常なクリスチャン生活をさせ、わたしたちをバイタルで健康な信者とします——ローマ 8:4. ガラテヤ 5:16, 22-23. I テサロニケ 5:16-18。
 2. わたしたちは、測りなわの神、尺度の神が、わたしたちに割り当ててくださった尺度の度量にしたがって、わたしたちが労苦するときに自分自身を制限することを学ばなければなりません——II コリント 10:13-14. ヨハネ 15:5. 使徒 20:19-20, 31。
- V. 「命」と「建造」は、全聖書の二つのかぎとなる言葉です。命は、神がキリストの中でわたしたちの生ける内容であることであり、建造は、三一の神の団体の表現です——創 2:8-12, 22. マタイ 16:18. エペソ 3:8-11, 16-21 :
- A. キリストはわたしたちの命であり（コロサイ 3:4）、召会は神の建造です（I コリ

- ント 3:9)。
- B. 召会の建造は、信者たちの命における成長によってであり、彼らの命における造り変えのためです——6-12 節. コロサイ 2:19 :
1. 成長する肢体は、建造する肢体です——エペソ 4:15-16
 2. キリストのからだ、神の召会を建造することは、キリストを命の木として人々に供給し、彼らをキリストの中で成長させるためです—— I コリント 3:6
- C. キリストのからだとしての召会の内在的な意義また天的な実際は、金の燭台によって予表されています。金の燭台は、生ける、金の木としての三一の神が復活の命をもって成長し、枝を出し、つぼみを出し、開花することを描写しています——出 25:31-40. 啓 1:10-12. 民 17:8 :
1. わたしたちは、勝利を得て、わたしたちの初めの愛としてのキリストに戻り、初めのわざを行なうとき、彼を命として享受し、神聖な光を輝かし出して、わたしたちの地方でイエスの証しを守ります——啓 1:2. 2:4-7
 2. 地方召会は、神がご自身の永遠のエコノミーの目標に到達するために取る手順です。わたしたちは地方召会の中にいなければなりません。それによってわたしたちはキリストのからだの実際（エルサレムの中のシオンとしての）の中へともたらされて、実際における金の燭台となることができます——4-5 節. エペソ 1:22-23. 4:4. 詩 102:16. 48:2. 50:2. 51:18. 125:1-2. 128:5
- D. 神の究極の建造である新エルサレムの中で、わたしたちが飲むために命の川が流れており、わたしたちが食べるために命の川の中で命の木が生長しています。このことは、わたしたちが神の建造にあずかるために、命による、また命を伴う道以外に道はないことを見せています——啓 22:1-2。
- E. キリストの天の務めにおいて七倍に強化された神の有機的な救いは、勝利者を生み出して新エルサレムを命における神の究極の建造、命の都として究極的に完成することによって、墮落した召会を命としてのキリストに対する享受に戻し、キリストのからだを建造することです——1:4. 3:1. 4:5. 5:6. 22:1-2. 参照、1:10. 2:7 :
1. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、主への初めの愛と、燭台の輝く能力と、命としてのキリストに対する享受とを失っていたエペソに在る召会の信者たちを以前の召会生活から救い出し、勝利者とならせました。それによって彼らは神のパラダイス、すなわち王国時代の新エルサレムにおいて命の木を食べるという褒賞を受けます——1-7 節。
 2. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、スミルナに在る召会において苦難にあっている信者たちを強めて、殉教することによって迫害に打ち勝たせます。それによって彼らは、王国時代において第二の死の害に遭うことはないという褒賞を受けます——8-11 節。
 3. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、ペルガモに在る召会の信者たちをこの世との結合から、またバラムとニコライの者たちの教えから聖別して、勝利者とならせます。それによって彼らは、王国時代において隠されたマナを食べ、新しい名が記され

ている白い石を得るといふ褒賞を受けます——8-11 節。

4. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、テアテラに在る召会の信者たちを偶像礼拝、淫行、悪魔的な教え、サタンの深い事柄から救い出して、勝利者とならせます。それによって彼らは、王国時代において諸国民を治める権威を持つといふ褒賞を受けます——18-29 節。
5. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、サルデスに在る召会の信者たちを死んでいる、死にかけての状態から復興して、勝利者とならせます。それによって彼らは、王国時代において白い衣を着て主と共に歩き、彼らの名が命の書から消されることはなく、御父の御前と彼の御使いたちの前で言い表されるという褒賞を受けます——3:1-6。
6. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、ヒラデルヒヤに在る召会の信者たちを励まして、だれも彼らの冠を奪うことがないようい彼らが持っているものをしっかりと保たせ、勝利者とならせます。それによって彼らは、王国時代において神の宮の柱となり、神の御名と、新エルサレムの名と、主の新しい名とを書き記されるという褒賞を受けます——7-13 節。
7. 七倍に強化された命を与える霊は働いて、ラオデキヤに在る召会の信者たちを生ぬるさとキリストのない状態から起こし、彼らを励まして精錬された金、白い衣、目薬のために代価を払わせ、戸をたたいている主に対して戸を開かせて、勝利者とならせます。それによって彼らは、王国時代において主の御座に着くといふ褒賞を受けます——14-22 節。

© 2016 Living Stream Ministry